令和５年度　学校便り第６号（発行：10月31日）　―グローカル（Glocal）な人材育成―

「金峰学園」義務教育学校

～Kinpou Compulsory Education～

自主　友愛　創造

「心の免疫力」を高める処方箋

校長　永里　智広

最近，「自己肯定感」という言葉がよく使われています。

多くの人が，自己肯定感とはポジティブな性格で，自己評価が高く自信に溢れている人が持っているものだと思っていませんか。私自身，字義的にそのような解釈をしている時期もありましたが，これは大きな勘違いでした。

自己肯定感とは，本来，誰もがもっている「心の免疫力」のことだそうです。この，“誰もがもっている”ということが肝心です。心が傷ついたとき，その傷を早く回復できる力のある人が，自己肯定感の高い人なのです。

私たち人間の心の状態は，変化に富んでいます。自分を取り巻く環境や状況によって，自己肯定感は高くなったり低くなったりと常に変化しています。自己肯定感が高い状況の子どもたちには，そっと背中を押してあげて自力回復を助長してあげればよいでしょう。一方，自己肯定感が低い状況の子どもたちに対しては，「心の免疫力」を高める処方箋が必要です。まず，子どもを取り巻く環境と状況の詳細をしっかりと聞いてあげること，その上で，その子に合った対応策を考えて返してあげる。場合によっては，一時的にゆっくり休ませてあげることも必要になってきます。このときが，私たち“大人”の出番です。

これまでの教職生活を振り返ってみますと，子どもたちの自己肯定感を低下させている要因には，ある特徴があるように思います。それは，自身の過去へのこだわりに因るものと，他人との比較によるものです。前者は，失敗に対するショックがトラウマとなり，次の一歩を踏み出せない，またそのことに自分自身がいらだちを感じています。後者は，自分の置かれた状況を他人と比較して劣等感を感じています。自分自身の成長や伸びがあるにもかかわらず，そのことを認識することができません。

私たちは，子どもたちの失敗をネガティブに捉えがちではないでしょうか。「失敗を恐れず挑戦しなさい」と言いながら，結局のところ確かな成果を求めてしまいがちです。これでは，子どもたちも，最初から挑戦することに躊躇してしまうでしょうし，結果が悪ければショックも大きくなるでしょう。私たち“大人”が，失敗することを前提にトライさせてみる。子どもが失敗したときには，寄り添って一緒に考えてあげる。次の手が見えてきたら，背中を押してあげる。学びには，失敗がつきものです。失敗したときこそ，成長（伸び）のチャンスだと考えたい。本来，子どもたちは，知的好奇心が旺盛なはずです。その貴重な能力をさらに伸ばしていくためにも，“失敗が許容された学びの場”を提供していきたいものです。

また，“失敗”の状況は，一様ではありません。個人が解決していく個別の学びですから，他人との比較対象にはならない学びです。だからこそ，貴重な学びだと思います。学びの“失敗”をポジティブに捉え直し，子どもたちの心の免疫力アップに努めていきたいと考える次第です。

「芸術鑑賞教室：スクールコンサート」が行われました

１０月１３日（金），「みやまコンセール協力演奏家５人」による芸術鑑賞教室「スクールコンサート」が行われました。今回は，児童生徒の発達段階に合わせた曲の選考をしてもらい，前期・中期・後期ブロックで１時間ずつ演奏してもらいました。中でも，ドラえもんや鬼滅の刃といったアニメソングや，音楽の授業で学習する「荒城の月」や「帰れソレントへ」といった曲が演奏された瞬間には，児童・生徒の目はステージに釘付けになり，たいへん興味深く聞き入っていました。

児童生徒にとっては，本物の演奏家の「ピアノ・フルート・サクソフォン・クラシックギター」といった生の楽器演奏を体感でき，貴重な芸術鑑賞教室となりました。

【生演奏で大感動のスクールコンサート】

国体少年サッカー決勝観戦！　in　OSAKO YUYA stadium

後期課程（7～9年生）は，国体の少年サッカーの決勝戦をOSAKO YUYA stadiumに観戦に行きました。生でスポーツ観戦するのが初めての生徒も多く，さらに美しい天然芝のOSAKOYUYA stadiumを目の当たりにして大興奮の様子でした。

ゲームも，さすが国体の決勝戦だけあって，ハイレベルな攻防が目の前で繰り広げられ，迫力あるプレーに大歓声が上がっていました。

将来，金峰学園から第二の「大迫勇也」選手が出ることを期待しています。

【大興奮の国体サッカー観戦】

「5･6年生の自転車通学生（お知らせ）」

本校では「５・６年生の自転車通学」につきまして，一定の条件と後期課程の自転車通学規定を満たした希望者には許可をしています。一定の条件は，毎年行われる鹿児島県の自転車競技大会に出場し，交通の規則や自転車の安全な乗り方などを問う学科テストと、交差点の安全な渡り方など基本的な乗り方をチェックする安全走行・技能走行テストなどの実技テストをクリアーし「子ども自転車交通安全証」を交付してもらうことです。希望される方は，各担任までご連絡ください。

「5･6年生の一部部活動体験（お知らせ）」

本校では，義務教育学校の特性を生かし，発達の段階を考慮した上で５・６年生の部活動への一部参加を勧めています。後期課程での部活動にスムーズにつなげるような部活動体験ができればと思います。なお，参加につきましては，保護者送迎や一部部費の負担など，部活毎にいくつか条件があります。参加を希望する場合は，各学級担任までご相談ください。

【車での送り迎えの方へ（重要）】

車の送迎の際，駐車場（スクールバスゾーン）への乗り入れは原則禁止です。ただし，以下の場合は，乗り入れ可能ですので，ご確認ください。

●怪我・体調不良等で早退し，迎えに来られた場合
→時間帯によっては，駐車場補助員がいますが，理由をお伝えください。

●お子さんが怪我や病気で歩行が困難な場合
（担任にご相談ください）→許可証を発行します。

●その他は，個別対応になりますので，担任に相談してください

【朝・帰りの時間帯は，児童・生徒の登下校と重なります。校内は徐行するなど，十分ご注意ください。】

「亀小屋」完成！　ありがとうございました!

「おせっかい隊」の方々が建築していた「亀小屋」がついに完成しました。４月，まずは大木を伐採し，藤棚の周りを整備して，木材で形を作りながら，コンクリートを打ち込み，しだいに形になっていきました。そしてついに９月中旬に完成しました。近く，旧阿多小で預かっている亀を移動し，落成式をする予定です。みなさん，楽しみにしていてください。

「おせっかい隊」を中心に建築に関わった方々，本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

【完成した見事な亀子屋】

【内野建設　様】より　「幅跳び用･遊具場の砂」の寄贈

ありがとうございました！

感謝

内野建設さんより，「校庭の砂場」と「鉄棒付近の砂」の寄贈がありました。早速，きれいに盛られた砂場で，子どもたちも楽しそうに遊んだり，運動したりしています。また，南さつま市の陸上大会に向けて「走り幅跳び」の練習にも使っています。ありがとうございました。

各種コンクール受賞，おめでとうございます！

南日本ジュニア美術展

特選	３年	久保田朔太郎	入選	１年	下窪璃乃
入選	５年	上稲葉佑人	入選	５年	内野秀俊
入選	５年	岸　真理佳	入選	８年	高吉真彩
入選	９年	濱上桜花			

ＪＡ共済作品コンクール（ポスター）

佳作　１年　有薗　駈

笠沙アートフェスティバル　in　南さつま

入選	９年	川路美人	佳作	５年	蒲池歩惺
佳作	７年	橋本恵那	佳作	８年	米山翔瑛

<Schedule（１１月の主な行事　予定）>

３日	（金）	（祝）文化の日
６日	（月）	金峰学園フェスタ準備・リハーサル
７日	（火）	第１回金峰学園フェスタ
９日	（木）	台湾オンライン交流会：9年生
１０日	（金）	実力テスト（9年生）
１１日	（土）	土曜授業（人権授業）・8年親子レクレーション
１２日	（日）	9年生親子レクレーション（金峰山登山）
１４日	（火）	家庭学習強調週間・部活動停止～23まで 授業参観・ＰＴＡ（9年）
１５日	（水）	生徒会引継式
２０日	（月）	三者面談9年,教育相談（前期課程･7,8年）～30
２１日	（火）	期末テスト（7～9年）～24
２３日	（木）	勤労感謝の日
２４日	（金）	海外派遣事業マレーシア報告会（８年）
２５日	（土）	金峰旗争奪選抜野球大会　～26

※行事は予定となっております。